

## 1年音楽科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p><b>歌唱・器楽</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、必要な奏法、体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。</li> </ul> <p><b>創作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音のつながり方の特徴、音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。</li> </ul> <p><b>鑑賞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</li> </ul>	<p><b>歌唱・器楽</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱・器楽表現を創意工夫している。</li> </ul> <p><b>創作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫している。</li> </ul> <p><b>鑑賞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</li> </ul>	<p><b>歌唱・器楽</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽の学習に取り組もうとしている。</li> </ul> <p><b>創作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> <p><b>鑑賞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察、実技テスト、定期考査、ワークシート、小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察、実技テスト、合唱・器楽・創作記録カード、ワークシート、定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察、合唱・器楽・創作記録カード、ワークシート</li> </ul>
カットインクォーント	<p>90～100%・・・「5」</p> <p>80～90%・・・「4」</p> <p>50～80%・・・「3」</p> <p>20～50%・・・「2」</p> <p>0～20%・・・「1」</p>	<p>それぞれの観点別評価は原則として</p> <p>「A」・・・80%以上</p> <p>「B」・・・50%以上</p> <p>「C」・・・50%未満</p>	

## 2年音楽科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p><b>歌唱・器楽</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりとの関わり、声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、必要な奏法、体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。</li> </ul> <p><b>創作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴、音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。</li> </ul> <p><b>鑑賞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</li> </ul>	<p><b>歌唱・器楽</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱・器楽表現を創意工夫している。</li> </ul> <p><b>創作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。</li> </ul> <p><b>鑑賞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。</li> </ul>	<p><b>歌唱・器楽</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽の学習に取り組もうとしている。</li> </ul> <p><b>創作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> <p><b>鑑賞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
	評価方法	・授業観察、実技テスト、定期考査、ワークシート、小テスト	・授業観察、実技テスト、合唱・器楽・創作記録カード、ワークシート、定期考査
カットインクォーント	<p>90～100%・・・「5」</p> <p>80～90%・・・「4」</p> <p>50～80%・・・「3」</p> <p>20～50%・・・「2」</p> <p>0～20%・・・「1」</p>	<p>それぞれの観点別評価は原則として</p> <p>「A」・・・80%以上</p> <p>「B」・・・50%以上</p> <p>「C」・・・50%未満</p>	

### 3年音楽科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	<p><b>歌唱・器楽</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりとの関わり、声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、必要な奏法、体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。</li> </ul> <p><b>創作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴、音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。</li> </ul> <p><b>鑑賞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</li> </ul>	<p><b>歌唱・器楽</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱・器楽表現を創意工夫している。</li> </ul> <p><b>創作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。</li> </ul> <p><b>鑑賞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。</li> </ul>	<p><b>歌唱・器楽</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽の学習に取り組もうとしている。</li> </ul> <p><b>創作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> <p><b>鑑賞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
評 価 方 法	・授業観察、実技テスト、定期考査、ワークシート、小テスト	・授業観察、実技テスト、合唱・器楽・創作記録カード、ワークシート、定期考査	・授業観察、合唱・器楽・創作記録カード、ワークシート
カッ テ ィ ン ク 、 ホ ィ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	